

# スポーツ雪合戦

国立花山青少年自然の家

## 1 活動の概要及びねらい

冬のニュースポーツに友達と工夫しあって取り組み、チームワークで勝利することの楽しさを味わうことができます。

## 2 時期・時間

12月～2月積雪時・2～3時間程度

## 3 活動場所

すりばち広場（荒天時はプレイホールでも行えます）

## 4 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者が準備する物
ヘルメット、ゼッケン、フラッグポール、シェルター、雪玉製造器、ホイッスル、ストップウォッチ等	活動に適した服装、帽子、手袋等

## 5 実施例

- ① 健康状態を確認し、服装を点検します。
- ② 準備物の確認をします。
- ③ 以下のルールに従って活動します。  
※各団体の実態を考慮してください。

### 【チーム編成】

- ・監督1名
- ・コーチ1名
- ・選手7名（フォワード4名・バック3名）
- ・雪球製造者3名  
※ただし補欠を2名おくことができます。

### 【競技時間・セット】

- ・1セット3分間の3セットマッチ、2セット先取した時点で終了です。

### 【競技者の役割・範囲】

- ・フォワード ～ 自コートバックラインより前のみで競技します。
- ・バックス ～ コート全てを使うことができます。
- ・競技者がセンターラインをこえて同時に相手コートに入れる人数は3名以内です。

### 【競技開始】

- ・2個以内の雪球を持ち、バックライン上に整列します。主審の合図で開始します。

### 【競技者の交代】

- ・交代はセット間のみ行うことができます（何度もできます）。

### 【雪玉の受け渡し】

- ・直接手渡しで行うか、コート上に置いたり転がしたりして行います。
- ・シェルター、シャトーの上に置き行います。
- ・投げて渡すことはできません（投げた雪球を受け取った人はアウトになります）。



### 【競技者のアウト】

- ・ 雪球が、直接着衣又は体に触れたとき
- ・ サイドライン、エンドラインを越えたとき
- ・ 体の一部がコート外に出たとき、コート外の雪球に触れたとき
- ・ フォワードが、自コートのバックラインを越えたとき
- ・ フォワードが自コートバックライン後方のコート上にある雪球に触れたとき
- ・ 無効雪球を使用したとき
- ・ アウト競技者から雪球を受け取ったとき
- ・ 競技中、不正な雪球を作ったり、ウェア等に雪玉を隠し持ったりしたとき

### 【勝敗の決定】

- ・ 時間内に相手チームのフラッグを抜いたチームを勝ちとします。
- ・ 時間内に相手チームの競技者全員をアウトにしたチームを勝ちとします。
- ・ 時間内に勝敗が決定しないときは、コート内に残った人数の多いチームの勝ちです。
- ・ センターラインを越えて相手コートに4人目の選手が入ったチームは、負けとなります。
- ・ 上記において勝敗が決しない場合は、引き分けとなります。

### ※次のような場合にもアウトになります。

- ・ 空中にある雪玉に直接ふれた時（自分の足に落としたり、お手玉したりしてもアウト・味方同士でパスしたり当てたりしてもアウト）
- ・ 壊れた雪球を作り直したり、新しく雪球を作ったりしたらアウト

### ※次のことにも注意してください。

- ・ アウトになった選手がフラッグを取った時には、取った本人が元の位置に戻します。
- ・ アウトになったら、雪玉をその場に置いて、近くのサイドラインからコート外に出てください。
- ・ 外に出てもヘルメットを着けたままエンドラインの後ろで待機してください。

### ④ 人数確認、健康調査をします。

### ⑤ 後片付け

※用具は必ず元の場所に返してください。

※必ず引率者が立ち会ってください。

（破損等があれば事務室にご連絡ください）



### 6 留意点

- ・ ルールは簡易化することもできますし、雪玉ではなく室内球を使うこともできます。
- ・ シェルターやシャトーは重いので持ち運びにご注意ください。

